

12/1(水)

12:10~13:10

スピーカー:スエナガ エウニセ 氏(教養教育センター)

ポルトガル語通訳としてアフリカに行く

アフリカには旧ポルトガル植民地で、ポルトガル語が公用語の国がいくつかあります。アンゴラ、モザンビーク、カーボヴェルデなどです。発表者は2007年から2011年まで約10回それらの国に通訳として派遣され、長いときは約2カ月間、短いときは1週間滞在しました。遠いアフリカで思ったこと感じたこと、そして現地で発見した日本との思いがけないつながりなどについて話します。



セミナーの視聴方法

県大のOffice365 Teamsで「コードでチームに参加する」にチームコード「4jw5fa8」を入力し、「Global / iCoToBa」のチームに参加してください。

写真の説明:

2007年、カーボヴェルデにて小学校の近くで仕事をしていると、東洋人は珍しいというので子どもたちが集まってきました。